

社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

2007年度事業報告

I 概要

2007年度のJHFの事業として教員検定員研修検定会を実施しました。32名の方が今後3年間教員検定員として、また教員更新講習会でも活躍します。万一重大事故が発生した場合の事故調査も行います。残念ながら2007年は一年で死亡事故はハングライダー1件、パラグライダー4件、動力付が4件発生しました。普及振興の基本が、フライトの安全性確保であることは言うまでもありません。安全対策の一環として安全性委員会より、フライヤーに向けて事故再発を防ぐための情報を提供する為、事故情報をデータベース化します。入力を容易にし、ウェブから直接報告が出来る仕組みを3月からスタートしました。またAED（自動体外式除細動器）の無料貸出、キャノピーのエア漏れチェックの為にポロジメーター貸出を開始しました。今後もより一層の安全なフライト確保、安全確認やセルフチェックの励行等、安全飛行の啓蒙対策を講じ努めていきます。

2007年度末のフライヤー会員有効登録者は11,914名で、昨年度に比べ7.4%減少（2006年度は対前年11.8%減少）しました。減少の歯止めとして、契約スクールの案内やフライヤー会費の口座振替推進を実施して来ましたが、2008年5月になりましたが、フライヤーの方から望まれておりました1人1人への2007年度版JHFレポートを発送しました。普及活動としては、日本航空協会が行っている航空スポーツ教室に協力をしました。開始当初は東京近辺で年一度のみでしたが、昨年度より全国に広げ希望する小学校に出張授業をしています。JHFは正会員の協力によりパラ体験コースを担当しています。（2007年度は石川県、愛媛県、東京都で開催）

1 収支の現状

2007年度は、前年実績からフライヤー会員は下げ止まったという前提で予算案を組みました。ただ用心の為、支出予算は各事業単位では極力抑え前年度の緊縮体制を持続するものとし、予備費に一定の額を確保する形にしておりました。結果として、収入の大幅減少よりも支出の節約のほうが上回り、繰越金として次年度に残すものとなっております。

理事会では、会員数一万人を下回ったときの組織存続にたいへんな危機感をもち、対策を打ってまいりましたが、残念ながら2008年度も一割超の会費減少を見込んだ計画をせざるを得ません。固定費や組織運営費用の削減に努めますが、重大事故に伴う第三者賠償責任の発生による保険金支払いによって、フライヤー会員の保険料も値上げは必至の状況にあります。皆様からの大切な会費収入を、漫然と支出することなく、効果の高い施策に集中的に配分していく所存です。

2 普及振興事業の実施

- 1) フライヤー登録の更新手続きで口座振替制度を5月より開始しました。
更新忘れによる無保険飛行を防止するため。初年度利用(470名)
- 2) 教員検定員研修検定会を実施しました。
新規教員の育成、フライヤー増加を目的とするため。

- 3) FAIスポーツ規定の「パラグライディング・アキュラシー競技」日本語訳完成。
- 4) パラグライディング教本の改訂作業を行いました（2008年6月発行予定）
- 5) 各スクールに入山者のフライヤー登録の有効確認をお願いしました。

3 特記事項

- 1) 第31回鳥人間コンテスト選手権大会を協賛
7月28日(土)～29日(日) 滋賀県彦根市松原水泳場周辺
- 2) 第19回スカイ・レジャー・ジャパン2007in都城に参加
11月10日(土)～11日(日) 宮崎県都城市
- 3) 第13回スカイスポーツシンポジウムを協賛
12月8日(土)～9日(日) 日本大学理工学部船橋校舎
(アクロパイロット 福岡聖子さんが特別講演)
- 4) リアルパラワールド木島平ミーティングを協賛
3月29日(土)～30日(日)

II 事項別状況

1. 組織

(1) 会員数

- ア 正会員 47名
- イ フライヤー会員 11,914名 (2008年3月末有効登録数)
- ウ 賛助会員 4名

(2) 役員構成

理事 8名 (内会長1名、副会長1名) 監事 2名 (2008年3月末現在)

2. 会議等の開催

(1) 総会

2007年度 6月通常総会
開催通知 2007年4月16日
開催日 2007年6月14日(木)13:00～17:00
開催場所 東京都南部労政会館 第6会議室
(品川区大崎)

議案 第1号議案 2006年度事業報告の承認について
第2号議案 2006年度決算報告の承認について
第3号議案 2007年度事業計画
第4号議案 2007年度予算案
第5号議案 JHF顧問の承認について
第6号議案 JHF及び都道府県連盟のプライバシーポリシー規約の制定

第7号議案 JHF 役員の選任について

(2) 理事会

- | | | | | |
|---|---------|-----|--------|---------------------------------------|
| ア | 第1回理事会 | 開催日 | 4月12日 | (出:理事7 監事1、欠:0) |
| イ | 第2回理事会 | 開催日 | 5月10日 | (出:理事6 監事1、欠:理事1) |
| ウ | 第3回理事会 | 開催日 | 6月14日 | (出:理事7 監事1、欠:0) |
| エ | 第4回理事会 | 開催日 | 7月4日 | (出:理事8 監事1、欠:監事1) |
| オ | 第5回理事会 | 開催日 | 9月5日 | (出:理事7 監事2、欠:理事1) |
| カ | 第6回理事会 | 開催日 | 10月25日 | (出:理事6、 欠:理事2 監事2) |
| キ | 第7回理事会 | 開催日 | 11月17日 | (出:理事5 監事1、欠:理事3 監事1
…定足数を満たさず不成立) |
| ク | 第8回理事会 | 開催日 | 1月25日 | (出:理事7 監事2、欠:理事1) |
| ケ | 第9回理事会 | 開催日 | 2月27日 | (出:理事8 監事1、欠:監事1) |
| コ | 第10回理事会 | 開催日 | 3月12日 | (出:理事7 監事1、欠:理事1 監事1) |
- (ア～ウ:選挙前につき理事7名・監事1名、エ～コ:理事8名、監事2名)

(3) 委員会等

下記のほか電子メール会議を実施し、経費節減に努めた。

- | | | |
|---|-----------------|------------------|
| ア | ハンググライディング競技委員会 | 競技会開催時に実施 |
| イ | パラグライディング競技委員会 | 競技会開催時に実施 |
| ウ | 補助動力委員会 | 8/10、11/12 |
| エ | 教員・スクール事業委員会 | 5/30、11/27、11/28 |
| オ | 安全性委員会 | 6/27 |
| カ | 制度委員会 | |
| キ | 選挙管理委員会 | 2/28、5/15、7/5 |
| ク | 広報出版部 | 6/9 |

3. 事業の実施状況

(1) 普及振興活動

- ア JHF レポートを発行(2008/5月)
- イ 都道府県連盟事業費の交付
- ウ 日本学生フライヤー連盟へ助成金交付

(2) フライヤー会員登録

登録数: 2007年度 6,201人(新規・更新) 2006年度 6,907人(10.2%減)

(3) 技能証発行

- ア HG: 239枚
- イ PG: 1,792枚
- ウ PW: 73枚(MPG技能証)

(4) 競技会の主催・公認・後援

- ア HG：12件（内FAI カテゴリーⅡ：1件）
- イ PG：24件（内FAI カテゴリーⅡ：4件）
- ウ HG・PG同時開催：7件

(5) 競技会の開催

ア HG：

① 2007 クラス I 日本選手権

2007年3月17日(土)～3月21日(水) 石岡市板敷エリア

参加71人(内女子8人)、日本選手権者：加藤実、(女子)加味根あかり

② ハンググライディングシリーズ：有成績者数119名（1位：鈴木博司）

イ PG：

① 日本選手権、2007年10月5日～8日、岡山県大佐山

参加70人(内女子10人)、日本選手権者：岩谷勝弘、(女子)平木啓子

② ジャパンリーグ・ワールド：有成績者数70名（1位：岩谷勝弘）

女子：有成績者数10名（1位：平木啓子）

③ ジャパンリーグ・ナショナル：有成績者数96名（1位：若山朋晴）

女子：有成績者数13名（1位：河村葉子）

④ ジャパンリーグ・国際選抜：有成績者数97名（1位：若山朋晴）

⑤ クロスカントリーリーグ（1位：関口典彦）

(6) スクール・エリア情報の収集及び公開

ア 優良パラグライダースクールサイト登録校 137件

イ ウェブサイトエリア情報掲載 153件

(7) 海外関係団体活動

CIVL 総会 2008年2月7日～10日、メキシコ・マンサニージョ

出席者：デレグイト岡芳樹

(8) 世界選手権へのチーム派遣

ア 第16回ハンググライダー世界選手権（クラスI）

8月9～19日、USA テキサス、参加選手：6名

(9) その他

ア 機体型式登録 23件（PG）

イ レジャー航空無線機貸与 延42件 2,200台

ウ AED貸出 7件、ポロジメーター貸出 1件

エ フライヤーのための傷害保険「JHF 総合保障制度」加入者数：630名

オ 技能証カードデザインを一新し5月より発行を開始

（種類を統一し発行コストを削減するため）